



小江原小学校だより

光満つ丘・空と風

令和6年10月11日号

文責：秋山壽哉



「自分の『いのち』を守る行動」

9月24日(火)に本年度2回目となる「避難訓練」を行いました。今回は「不審者対策」として、不審者侵入時における心構えと身構えを学びました。

不審者が侵入し、子どもや教職員に危害を及ぼす可能性があることを想定し、どのようにして子どもと教職員の「いのち」を守るのか…。

平成13年(2001年)6月8日、日本中に衝撃が走りました。大阪教育大学附属池田小学校に凶器を持った男が侵入し、1年生と2年生8名の尊い「いのち」が奪われ、児童13名、教職員2名が負傷しました。この事件から23年…このような痛ましい悲劇が起こらないように、今もなお、学校安全対策の強化を続けています。



訓練当日は、長崎県警察本部スクールサポーター松永様と音口様を講師としてお招きし、訓練の講評や自分の身といのちを守るためのお話をしていただきました。



実演を交えた「いかのおすし」の確認やスマホの危険性についてもお話いただき、子どもたちは実感を伴って理解していました。

子どもたちとの訓練が終わった後には、教職員研修として「不審者侵入時の対応要領」を学びました。

小江原っ子の「いのち」を守る、小江原っ子自らが自分の身と「いのち」を守る取組は、これからも続けてまいります。

「節をつくった『宿泊体験学習』」

10月2日(水)～4日(金)、5年生は日吉自然の家において2泊3日の宿泊体験学習を行いました。

竹箸づくりやすり身づくり体験、ナイトワーク、スコアオリエンテーリング、イニシアティブゲーム、野外炊さん等々、充実した活動を予定通りに行うことができました。

宿泊体験学習には2つの目的があります。

- 主体的に自ら考え行動する力を育むとともに、人や自然との関わりの中で、自分の良さや友達の良さに気付く。
- 友達と寝食をともにすることによって多くの時間を共有し、心の交流を深めるとともに、共同生活の楽しさを味わい、集団生活の規範を身に付ける。

2つの目的は、いずれも本校が掲げる「自律・尊重」の姿に通じます。



5年生は豊かな経験を通して、より成長した姿を見せてくれています。振り返りにも、自らの成長を実感し、これからの生活につなげていくとの決意が綴られています。5年生の今後の活躍と更なる成長が楽しみです。



保護者やご家族の皆さまには、活動の趣旨をご理解いただき、ご準備等においてご協力をいただきましたことを、心からお礼申し上げます。

実施に当たり、長崎市立日吉自然の家の職員の皆さまや長崎大学の大学生4名の皆さまにもご協力いただきました。全ての皆さまに感謝申し上げます。